

目次

上巻	七頁
中巻	一五頁
下巻	二七頁
道綱母集	二七頁
蜻蛉日記(平安朝編)	二九頁
作者(道綱母)略歴	三〇頁
兼家略歴	三三頁
道綱略歴	三八頁
蜻蛉日記関係文献略	三九頁
蜻蛉日記関係系図	四〇頁

表紙 紙 道綱の母の夢想(石山寺縁起、粟田口法眼絵・座主梶守僧正詞書)  
 底本挿絵 宮内庁書陵部図書寮蔵(昭三三・一一・二五 許可)  
 一、本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。  
 二、本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。  
 三、本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。  
 四、本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。  
 五、本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。本文の紙は、和紙の一種である。

凡例



宮内庁図書寮蔵蜻蛉日記 題簽靈元天皇宸筆

蜻蛉日記  
 天曆八年  
 五月二十三日  
 兼家二十才頃か  
 兼家二十六才。作家二十才頃か。  
 あはつけあのけ。あふなと  
 する説がある。  
 兼家、天曆五年五月二十三日任  
 兵衛佐(公卿補任)。「かしは木  
 いとをかし。葉もりの神のます  
 らむもいとをかし。兵衛の督佐  
 尉などをいふらむもをかし」(枕  
 草子)。

宮内庁図書館蔵蜻蛉日記上巻(巻頭)

蜻蛉日記

上巻

序

かくありし時過ぎて、世の中にいとものはかなく、とにもかくにもつかで、世にふる  
 人ありけり。かたちとても人にも似ず、心魂もあるにもあらで、かうものやうにもあ  
 らであるもことわりと思ひつつ、ただ臥し起き明かし暮らすまに、世の中に多かる古  
 物語のはしなどを見れば、よに多かるそらごとだにあり。人にもあらぬ身の上まで書き  
 日記して、珍らしきさまにもありなむ、天の下の人の品たかきやと問はむためしにもせ  
 よかしとおほゆるも、過ぎにし年月ごろの事もおぼつかかなりければ、さてもありぬべ  
 きことなむ多かりける。

\*天曆八年(九五四年)五月二十三日、兼家二十才頃か。兼家二十六才。作家二十才頃か。

さてあはつけかりしすぎごとものそれはそれとして、柏木の木高きわたりより、か